



11月号

平成28年10月31日発

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel 911-0149]

アドレス [<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/>]



育つもの

校長 澤田 有子

運動会の起源は、ヨーロッパにあるとされていますが、日本の運動会のように参加者が一定のプログラムについて全体でまとまりながら競技や演技を行っていく形式は、日本独特のものだといわれています。そして、日本が近代国家を形成していく過程において、学校で行われる運動会は地域社会の連帯感を高め、強化することに大きく寄与したともいわれています。また、日本の運動会では赤組と白組に分かれて競い合うことが多いですが、なぜ紅白の色を使うのでしょうか。ちなみに、アジア、アメリカ、ヨーロッパでは、二組に分かれる時には、「赤組」と「青組」を使うことが多いそうです。紅白の組み分けによる対抗型の図式は、源氏と平氏の間で繰り広げられた源平合戦における両者の対立構造であり、平氏と源氏がそれぞれに赤旗(紅旗)と白旗を旗印に戦った史実に由来し、後世の日本人の意識に根付いた色彩感覚であるといわれています。

さて、荏田っ子運動会では、学校のリーダーである6年生は、学年やブロックの種目以外にたくさんの仕事や役割を受け持つこととなります。例えば、実行委員として10名、応援団として13名、開閉会式担当として5名、入場プラカード持ちとして10名、鼓笛隊として10名、リレー選手として8名、騎馬戦大将として4名というように、これだけでも60名分の役割があります。他にも保健係や放送係、準備係等の仕事もします。もちろん、たて割り体制での運動会なので下学年の面倒を見ることにもなります。しかしながら、本校の6年生は51名です。つまり、一人が多くの役割と責任を担うこととなります。6年生は運動会を通して鍛えられ、大きく育っていきます。責任を果たすことの大切さを学び、やり遂げることができたことで自信をつけることができるのです。他の学年の子どもたちも運動会の準備や練習の中で、大きく育っていく様子を感じることができます。本校の若い職員たちもしっかり、育つものがたくさんあります。小さな学校では、子どもも大人も一人ひとりがたくさんの役割と責任を担わなければなりません。しかし、それは自分自身を成長させるための大きなチャンスでもあるのです。

運動会開催にあたり、PTA役員の皆様並びに常任委員の皆様、「父親の会」の皆様、元PTA役員の皆様をはじめ、多くの保護者の皆様に運営や後片付けをお手伝いいただきましたことに心より感謝いたします。大きな力をありがとうございました。



本年度、横浜全市の小学校にタブレット端末が配当されました。(児童用10台、指導者用1台) 本校では、これに加えて学校教育予算より5台購入し、学びのツールの一つとして活用を始めています。今後、台数をさらに増やし、一人一台を使っている学習も行えたらと考えています。同様に、デジタル教科書を使った授業も増やしていきたいと考えています。